

(第19回茨木市こども育成支援会議)

資料1

# 「未来はかえられる」

～子どもの貧困対策～

平成27年度の実施状況

■子どもの貧困に関する当該指標の改善に向けた施策

学校教育による学力保障		平成27年度取組状況		
1	茨木っ子ジャンプアッププラン28(専門支援員の配置、支援教育サポーターの配置、学習支援者の派遣、学力向上重点支援モデル校区事業の実施、保幼小中連携教育推進会議の開催等)の推進。	充実	茨木っ子ジャンプアッププラン28(第3次学力体力向上3カ年計画)の2年目にあたり、各事業を着実に実施している。	学校教育推進課
学校を窓口とした福祉的な支援		平成27年度取組状況		
2	スクールソーシャルワーカー5人(非常勤嘱託員)を14中学校区に配置。	充実	相談件数は増え、ケース会議も各校で随時実施している。 相談件数：小学校729件、中学校1,843件(平成27年12月末現在)	学校教育推進課
3	スクールカウンセラー3人(非常勤嘱託員)を全小学校に配置(※中学校は府予算)。	継続	相談件数(小学校SC)：児童946件、保護者1,333件、教職員2,672件(平成27年12月末現在)	
4	「ゆめ実現支援事業」により、必要な生徒が奨学金を活用できるよう積極的に指導・周知。	継続	奨学金の周知を図るため冊子を作成し、説明会を19回(内、14回は中学校)実施した。奨学金活用相談員が、様々な相談に対応した。 相談件数169件(平成27年12月末現在)	
5	茨木市教育センターの不登校児童・生徒支援室「ふれあいルーム」を開設するとともに、児童・生徒及び保護者に対する不登校相談を実施。	継続	ふれあいルームにおける 面接回数 315回 相談者 57人 (平成27年12月末現在)	
6	茨木市教育センターにおいて、面接相談・発達相談、電話による教育相談を実施。	継続	面接相談 1,671回 発達相談 2,731回 電話による教育相談 103回 (平成27年12月末現在)	

教育の支援	保幼小中連携による学びの連続性の確保		平成27年度取組状況		
	7	保幼小中連携ベースカリキュラムに基づく各中学校ブロックの連携カリキュラムの作成。	充実	保幼小中連携担当者を中心に現在各中学校ブロックにおいて、作成のための協議を行っている。	学校教育推進課
	就学支援の充実		平成27年度取組状況		
	8	SC・SSW等の専門家や相談機関等との連携の窓口となる教育相談担当者を全校に位置づけ、その連絡会を年5回実施。	継続	SC・SSWの活用の仕方について市のスーパーバイザーを講師に招き、教育相談担当者のスキル向上を図った。	学校教育推進課
	9	就学援助制度、支援学級等就学奨励費制度の拡充として、中学校給食費に対する援助の実施。中長期的には、次年度以降の「国(文科省)における子供の貧困対策の推進」が進める低所得世帯に対する取り組み内容を考慮した市としての対応を検討。また、一部の援助費目について、支給時期を工夫するなどの対応を検討。	充実	中学校給食費に対する援助を実施。	学務課
	10	茨木市奨学金制度により、高校生等に対して奨学金を給付。	継続	継続して実施。	
	大学等の修学支援		平成27年度取組状況		
	11	大学卒業後の奨学金返済の負担軽減を図るとともに、若者の本市への流入と定着を促進することを目的に、大学奨学金利子補給事業を創設。	新規	平成27年10月に大学奨学金利子補給事業を創設。 上限20,000円/1人 (10年間利子相当額を補給する) 市民税非課税 25人/447,879円 その他 120人/2,176,282円	こども政策課

生活困窮世帯等への学習支援		平成27年度取組状況		
12	生活困窮家庭・ひとり親家庭の子どもに対する学習・生活支援。	新規	平成27年6月から事業開始。 生活保護世帯、ひとり親家庭、学校長推薦の中学生を対象に市内3会場で週2回実施した。また、別途1会場は教育委員会と連携して実施した。 参加人数は中央・西17人、東12人、南17人、北6人 (平成27年12月末現在)	生活福祉課 子ども政策課
13	自立相談支援員(学習・生活支援担当)の配置。	新規	平成27年1月から1人配置。 学習・生活支援事業への参加誘導及び生活面における包括的な相談支援を行った。	生活福祉課

その他の教育支援		平成27年度取組状況		
14	食に関する指導の全体計画を学校の教育計画に位置づけ、学校教育全体を通して実施。	継続	食育推進担当者会を年3回実施。「食に関する指導」について食育推進担当者だけではなく、養護教諭等も対象として、中学校ブロックで交流を行った。	学校教育推進課
15	放課後子ども教室における、多様な体験活動の場及び学習の場(まなび舎kid's)の提供。	継続	市内全32小学校区で実施。 (まなび舎kid's 10小学校区)	青少年課
16	子どもの社会体験・自然体験やスポーツ活動の機会の提供。[H28以降]	新規	多世代交流センターにおいて、ふれあい体験学習を実施するとともに、子どもの社会体験・自然体験やスポーツ活動の機会の提供について、関係課と協議・検討を行った。	こども政策課

保護者の生活支援		平成27年度取組状況		
17	生活困窮者自立支援事業における包括的な相談支援。	継続	生活困窮者及び生活困窮状態に陥るおそれのある者に対し、相談内容や対象者に要件を設けず、包括的かつ継続的な相談支援を実施。	福祉政策課
18	生活保護世帯に対する健康管理支援の実施。	継続	生活保護受給者に対して、健康面に関する相談、支援の強化に取り組んだ。	生活福祉課
19	ひとり親家庭の生活の安定と自立を図るため、ひとり親自立支援員による相談支援の実施。	継続	相談内容に応じて各種制度等の案内に努めるとともに、就職や転職等の相談の際、一人ひとりの状況に応じた自立支援計画を策定し、関係機関と連携を図りながら自立に向けた支援を行った。 相談件数：635件 (内訳) 母子534件<うち未婚者8件>・離婚前95件、父子6件・離婚前0件 (平成27年12月末現在)	こども政策課
20	ひとり親家庭同士の情報交換や交流を深めるため、ひとり親家庭生活支援事業の実施。	継続	ひとり親家庭の早期自立のための意欲形成及び家庭生活の安定を目的に、ひとり親家庭の交流・情報交換を行うため、母子福祉会へ「ひとり親家庭交流会」を事業委託し実施した。	
21	ひとり親家庭のライフプランを見つめなおす機会の提供として、ひとり親セミナーの開催。	継続	ひとり親の方を対象に、子育て、生活・教育費、貯蓄等をテーマにしたセミナーを開催した。 実施回数：6回 参加者数：18人	

生活の支援

22	母子の自立に向けて母子生活支援施設を活用し、生活相談・子どもへの指導を実施。	継続	DV被害者等の母子世帯について、自立促進を図るため関係機関等と連携し適正に対応した。 入所世帯数：2世帯 (平成27年12月末現在)	こども政策課
23	児童扶養手当等の支給を受けている世帯に対し、JR定期券及び万博公園割引証明書の交付。	継続	児童扶養手当の現況届会場で制度案内の掲示を行い対象者の方へ周知を図り、適切に交付した。 交付件数：83件、交付枚数：415枚 (平成27年12月末現在)	
24	ひとり親の自立のための技能習得や子どもの進学等のための資金として、母子寡婦福祉貸付事務を実施。(大阪府受託事業)	継続	マニュアルの確認・府との連携等適切な対応を心がけ事務を実施した。 修学資金17件、就学支度資金0件、生活資金3件、技能習得資金2件、転宅資金0件、修業資金0件 (平成27年12月末現在)	
25	乳児家庭全戸訪問事業の実施。	充実	訪問完了家庭数 1,835件 母子保健との連携 (平成27年12月末現在)	子育て支援課
26	養育支援が必要な家庭に支援員が訪問し、保護者の自立に向けた指導・助言等を行う、養育支援訪問事業の実施。	充実	6家庭に支援を実施 家庭訪問支援46回、専門的相談支援3回実施。 (平成27年12月末現在)	
27	育児や家事支援を行う、産前・産後ホームヘルパー派遣事業の実施。	充実	申請者 16人 訪問回数 237回 活動地域範囲外の派遣を受け入れてもらうことができた。 (平成27年12月末現在)	

28	一時的に家庭で養育が困難になった児童を預かる、子育て短期支援事業(ショートステイ事業・トワイライトステイ事業)の実施。	充実	新規に大阪水上隣保館、遥学園、大阪乳児院と委託契約し、0歳児の受入れを開始し、1世帯の利用あり。 ショートステイ利用者数：7世帯9人	
29	その他の子育て支援総合センター事業(子育て相談、情報提供、子育て講座、ふれあいまなび事業)の実施。	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談 電話、訪問、メール等により子育て相談を実施し、育児不安の軽減等子育て支援を図った。</li> <li>・情報提供 平成27年度ハンドブック15,000部発行。各機関に配布や設置、イベント等でも配布し、積極的な情報提供を行った。</li> <li>・子育て講座 内容を組み立てるに当たり、内容に応じた対象年齢の設定や、アンケートによる保護者のニーズを基に計画した。</li> <li>・ふれあい学び事業 積極的につどいの広場や窓口等で声掛けをしたことにより、参加者希望者数が増えた。 また、学校側にも参加する乳幼児や保護者が過ごしやすいよう環境づくりの協力を依頼した。</li> </ul>	子育て支援課

30	放課後子ども総合プランに基づく、一体型を中心とした放課後子ども教室と学童保育の実施。	充実	学童保育室のある全30小学校区で一体型の放課後子ども教室と学童保育の実施。	青少年課 学童保育課
31	DV相談を通して、DV被害者とその子どもを総合的に支援。	充実	平成27年4月に、配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害者及びその子どもに対して総合的に支援している。 DV相談件数795件 (平成27年12月末現在)	人権・男女共生課
32	生活全般に係る課題に応じ、関係機関と連携した包括的・継続的な助言・指導を実施。	継続	総合相談事業の実施及び相談機能強化事業として、沢良宜・総持寺において、委託による長期的・継続的な相談を実施。	

子どもの生活支援		平成27年度取組状況		
33	養育支援が必要な家庭に支援員が訪問し、保護者の自立に向けた指導・助言等を行う、養育支援訪問事業の実施。(再掲)	充実	6家庭に支援を実施。 家庭訪問支援46回、専門的相談支援3回実施。 (平成27年12月末現在)	子育て支援課
34	放課後子ども総合プランに基づく、一体型を中心とした放課後子ども教室と学童保育の実施。(再掲)	充実	学童保育室のある全30小学校区で一体型の放課後子ども教室と学童保育の実施。	青少年課 学童保育課
35	児童向け図書等を備えた図書コーナーを設け、子どもの居場所を提供。	継続	児童向け図書等をゆっくり閲覧しやすいよう、ネットワークギャラリーのレイアウトを変更した。	
36	DV相談を通して、DV被害者とその子どもを総合的に支援。(再掲)	充実	平成27年4月に、 配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害者及びその子どもに対して総合的に支援している。 DV相談件数795件 (平成27年12月末現在)	人権・男女共生課
37	平日の放課後、土曜日、長期休暇期間中の子ども達の安全・安心な居場所や異年齢交流の機会の提供。[H28以降]	新規	平成27年11月に、多世代交流センターにおいて、子どもの居場所、中高生の自習室を開設するとともに、更なる子ども達の安全・安心な居場所の設置や異年齢交流の機会の提供について、関係課と協議・検討を行った。	こども政策課
38	食育における関係機関等のネットワークづくりの推進。	継続	庁内の食育推進会議・実務者会議において、(仮称)茨木市食育推進ネットワーク構築について検討を重ねるとともに、関係機関との連携を進めている。	保健医療課

生活の支援

子どもの就労支援		平成27年度取組状況		
39	就職困難者等への就労相談・労働相談の実施。	継続	継続して実施。	商工労政課
40	一般求職者や新規学卒者、子育て世代の方等を対象にした合同就職面接会・各種相談等の実施。	充実	従来から実施している就労支援フェア以外に、大学等新規学卒者向け就職面接会及び合同就職面接会を中心とした子育て世代向け就労支援フェアを新たに実施。	
41	求職中の方を対象にした履歴書の書き方などを学ぶ就職支援セミナーの開催。	継続	子育て世代向け就労支援フェアの実施にあわせて、ローズWAMと連携し、就職支援セミナーを実施。	
42	未就職者、若年者等を対象とする企業説明会・見学会の開催。	継続	継続して実施。	
43	就職に役立つ資格取得や技能向上を図る、能力開発講座の実施。	継続	子育て世代向け就労支援フェアの実施にあわせて、パソコン・ビジネスマナー講座を実施した。	
44	就労への視野を広げる等、就職へのステップアップのため、未就職者等を対象にした就労体験の実施。	新規	平成27年5月から事業開始。 協力事業所は17事業所、体験者は4人。 (平成27年12月末現在)	
45	就職のため、国の指定する教育訓練講座を受講した失業者への再就職支援助成金の支給。	継続	継続して実施。	こども政策課
46	北大阪若者サポートステーションと連携した、若者の就労へ向けた自立支援。	継続	子ども・若者支援地域協議会の構成機関でもある北大阪サポートステーションと連携することで、ひきこもり・ニート等の出口支援の選択肢を広げている。	

関係機関が連携した包括的な支援体制の整備		平成27年度取組状況	
47	地域における子育て支援活動の活性化と支援者同士の連携・協力を目的とした、子育て支援団体連絡会の実施。	継続	<p>(A地区) 「子育て応援マップ」作成準備  (B地区) 「子育て応援マップ」・交流会・施設の見学の開始。  (C地区) 情報交換、私立保育園と保健医療課とコラボでプレママイベントを行う。  (D地区) 保育所や幼稚園で施設見学も含めてネットワーク会議を開催した。  (E地区) エリア内の支援団体の行事予定を掲載したカレンダー(年2回)の作成、発行。構成団体に新たに小規模保育施設を加え、「子育て応援マップ」にも追加掲載する。</p>
48	要保護児童等に関する情報交換や支援内容に関する協議を行う、要保護児童対策地域協議会の開催。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回 代表者会議</li> <li>・年3回 実務者者会議</li> <li>・年1回 要支援会議</li> <li>・毎月1回新規担当者会議</li> <li>・個別ケース検討会議(随時)</li> </ul>

子育て支援課

49	生活全般に係る課題に応じ、関係機関と連携した包括的・継続的な助言・指導を実施。(再掲)	継続	総合相談事業の実施及び相談機能強化事業として、沢良宜・総持寺において、委託による長期的・継続的な相談を実施。	
50	DVIに関する機関が相互に連携し、DV被害者支援の充実を図るため、DV防止ネットワーク連絡会を設置。	継続	DV防止ネットワーク会議及び研修会を開催 会議：平成27年5月19日(火)参加者22人 研修会：平成27年5月26日(火)参加者23人	人権・男女共生課
51	様々な機関・団体とのネットワークにより、それぞれの専門性を生かした支援を効果的かつ円滑に実施するため、子ども・若者支援地域協議会を設置。	新規	平成27年5月に子ども・若者支援地域協議会を設置。代表者会議2回(予定)、実務者会議6回、ケース検討会議4回(デモ検討1回含む)を実施。	こども政策課
52	食育における関係機関等のネットワークづくりの推進。(再掲)	継続	庁内の食育推進会議・実務者会議において、(仮称)茨木市食育推進ネットワーク構築について検討を重ねるとともに、関係機関との連携を進めている。	保健医療課

相談支援体制の充実		平成27年度取組状況		
53	教育センターにおける相談員の所内研修の開催。	継続	全体会を全8回、領域別を全9回実施。 庁内他課にも公開。	教育センター
54	ひとり親自立支援員のスキルアップのため、大阪府の自立支援員研修を受講。	継続	大阪府が主催する自立支援員研修を年6回受講した。	こども政策課
55	地域子育て支援拠点事業(つどいの広場、地域子育て支援センター)の相談員のスキルアップのため、連絡会・研修等を開催。	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援団体を対象に研修を6回開催した。 実技研修3回 参加者39人 講座研修3回 参加者108人 前年度より講座の研修回数を増やした。</li> <li>・地域子育て支援拠点従事者を対象に、外部講師による研修を実施した。 開催回数1回 参加者 43人</li> </ul>	子育て支援課
56	利用者支援事業の相談職員のスキルアップによる、情報提供等の相談機能の強化。	新規	<p>平成27年10月から利用者支援専門員を配置し、特定型として事業開始した。</p> <p>子育て家庭を対象に個別ニーズに基づく支援情報等の提供を実施。 (相談実績) 10月 22件、11月 14件</p> <p>(専門員スキル向上) ・各地区の子育て支援団体連絡会へ参加し、幅広い支援メニューを提供できるよう、子育て情報収集等を行った。 ・研修 平成27年7月17日(金) NPO法人子育てひろば全国連絡協議会主催「子育て支援コーディネーター養成講座」受講。</p>	

援	57	子育て支援総合センター事業の子育て相談員のスキルアップのため、大阪府主催の家庭児童相談室職員向けの研修等を受講。	継続	年間24回の講座に、対象者職員2人が参加する。	子育て支援課
	58	相談担当者の知識・技能の向上を図るため、年次的に※「隣保事業士」資格認定講習を受講。 ※隣保事業士 隣保事業のトータルコーディネーターとしての専門的な知識とスキルを有すると認定された者	継続	「隣保事業士」資格認定講習 2人受講。 受講日：平成27年9月16日（水）～9月20日（日）	
	59	配偶者暴力相談支援センターの設置による、DV被害者支援体制の強化。	新規	平成27年4月に、 配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害者及びその子どもに対して総合的に支援している。 DV相談件数795件 (平成27年12月末現在)	人権・男女共生課

その他の生活支援		平成27年度取組状況		
60	<p>妊娠期の母子健康手帳交付面接相談をはじめ妊婦健診やプレパパ・プレママ教室等の実施により、安心して出産できる環境づくりを支援し、出産後は、乳児健診、訪問指導等を実施するとともに、育児や発達の相談を受け、適宜、関係機関へつなぐなど切れ目のない支援。</p>	<p>継続</p>	<p>母子健康手帳交付時に保健師が全妊婦と面接し、妊娠・出産・育児に関する情報提供を実施している。必要に応じ、訪問や電話等でのフォローを行い、関係機関と連携しながら、妊娠期から出産後もフォローを継続している。</p>	<p>保健医療課</p>
61	<p>つどいの広場における、出産の準備などの情報提供や出産後の相談支援。</p>	<p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つどいの広場でのプレママ・プレパパ教室では、乳児の参加が多いベビーマッサージと同日に開催することで参加率を上げられるよう工夫した。</li> <li>・つどいの広場でプレママ・プレパパが参加できる日程を広報や各広場のおたよりへ掲載したり、産婦人科へポスター掲示を行う等、周知を図った。</li> </ul>	<p>子育て支援課</p>

就労支援や就労機会の確保		平成27年度取組状況		
62	就職困難者等への就労相談・労働相談の実施。(再掲)	継続	継続して実施。	商工労政課
63	一般求職者や新規学卒者、子育て世代の方等を対象にした合同就職面接会・各種相談等の実施。(再掲)	充実	従来から実施している就労支援フェア以外に、大学等新規学卒者向け就職面接会及び合同就職面接会を中心とした子育て世代向け就労支援フェアを新たに実施。	
64	求職中の方を対象にした履歴書の書き方などを学ぶ就職支援セミナーの開催。(再掲)	継続	継続して実施。	
65	未就職者、若年者等を対象とする企業説明会・見学会の開催。(再掲)	継続	継続して実施。	
66	就職に役立つ資格取得や技能向上を図る、能力開発講座の実施。(再掲)	継続	子育て世代向け就労支援フェアの実施にあわせて、パソコン・ビジネスマナー講座を実施した。	
67	就労への視野を広げる等、就職へのステップアップのため、未就職者等を対象にした就労体験の実施。(再掲)	新規	平成27年5月から事業開始。 協力事業所は17事業所、体験者は4人である。 (平成27年12月末現在)	
68	就職のため、国の指定する教育訓練講座を受講した失業者への再就職支援助成金の支給。(再掲)	継続	継続して実施。	

保護者  
の対  
策

援 助 的 就 労 支 援	69	ひとり親家庭の自立と生活負担の軽減を図るため、自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金の支給。	継続	両事業の事前相談において、ひとり親自立支援員の適正な見極めにより、支給者の就業実績が高く、ひとり親家庭の自立支援に貢献した。	
	70	ひとり親パソコン講座の開催。(就労支援)	新規	ひとり親家庭の自立促進を目指すため、求職活動中又は就業中でスキルアップを目指すひとり親の方を対象に、パソコン講座を開催し、必要な技能と知識の習得を図った。 参加者数：15人(定員：15人)	こども政策課
	71	生活困窮者自立支援事業における就労支援。	継続	就労による自立を目指す生活困窮者に対し、自尊感情の回復や、中間的就労など、状況に応じたステップアップにより、本人の強みに着目した就労支援を実施。	福祉政策課
	追加	生活困窮者自立支援事業における就労準備支援。	充実	ニート、ひきこもり、長期不就労など様々な問題を抱え、直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対し、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成に向けて、計画的かつ一貫した支援を実施。	福祉政策課
	72	ハローワーク求人情報提供体制の整備。	継続	総合相談事業において、ハローワーク求人情報のオンライン提供を活用した。	人権・男女共生課

生活の基盤を下支えするための金銭の給付や貸与など		平成27年度取組状況		
経済的支援	73 生活保護世帯に対する教育扶助の支給。	継続	小・中学校の生徒会費等の学級費、教材代、校外活動参加費、クラブ活動に要する費用等の認定をしている。 また、中学校給食を選択した場合、新たに給食費の認定を行った。	生活福祉課
	74 生活保護世帯の高校生に対する生業扶助の支給。	継続	高等学校等に就学した場合、入学準備費用、教材代、クラブ活動に要する費用等の認定をしている。	
	75 児童扶養手当の公的年金との併給調整に関する見直し。	充実	平成27年4月期支給から、公的年金等を受給されている方でも年金額が児童扶養手当を下回る時は、その差額分の手当を受給できるように見直しを行った。 (平成27年12月末現在) 年金併給者：24世帯(うち本人年金受給1世帯)37人(児童数)	こども政策課
	76 母子福祉資金貸付金等の父子家庭への拡大。	充実	平成26年10月から父子家庭へ対象を拡大した。その後、相談は3件あったが要件を満たさず実績は0件。	
	77 保育料の「みなし寡婦(夫)控除」の適用。	新規	税法上の寡婦(夫)控除が適用されない婚姻歴のないひとり親家庭を対象に、子ども・子育て支援新制度の給付対象となる幼稚園・保育所・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育事業所の保育料を減免した。 件数：23件 総額：1,492,000円	保育幼稚園課